

**特集** コロナ禍の今、できることを

**本市における  
65歳以上の人の接種率**

65歳以上の人で2回目のワクチンを接種した人の割合は、91.3%(9/12現在)を超えています。

皆様のご協力により、ワクチン接種を順調に進めることができました。

今後は、予約枠を調整していく予定となっていますので、接種が済んでいない人は、できるだけ早い時期の予約をお願いします。

**ワクチン接種後も感染対策**



**マスク着用**



**手洗い**



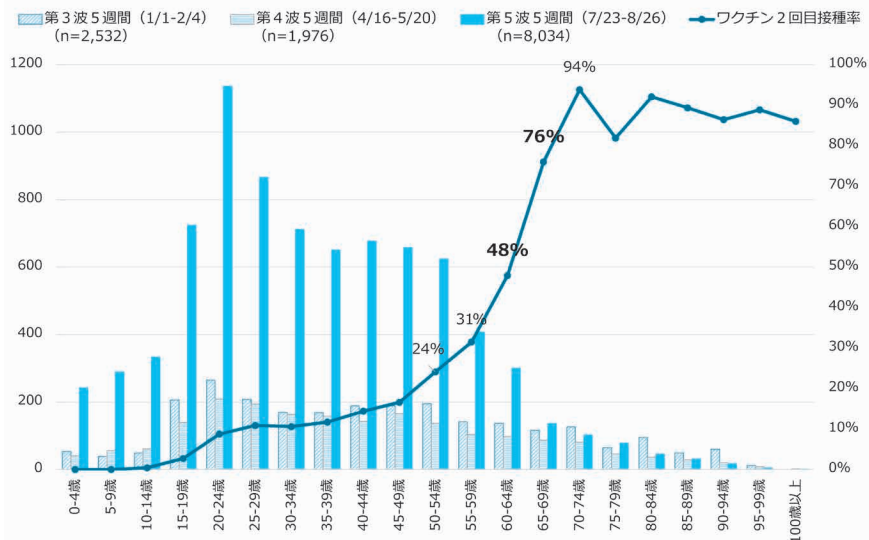
**3密の回避**  
(密接・密集・密閉)

**新型コロナウイルスから  
命を守る**

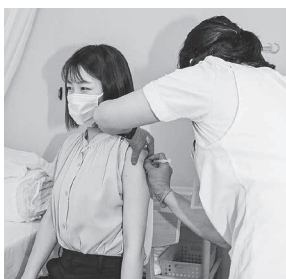
新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから1年9か月。マスク着用が日常化し、引き続き感染予防対策の徹底が求められています。命を守るために、「今、自分にできることは何なのか」を考えてみませんか。多賀医師会の横倉稔明会長に話を伺いました。

**茨城県 5歳刻みの陽性者数とワクチン接種率(8/27現在)**

▶ 64歳以下の各区分、陽性者数は第4波の3～6倍に増加



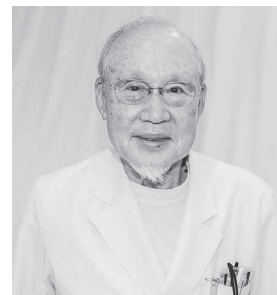
出典：R3.8.27知事記者会見資料



「5歳刻みの陽性者数とワクチン接種率」を見ても、ワクチンの接種率が高いほど、感染率が低くなるのが明らかです。

今後、新型コロナウイルス感染症は、長期戦になることが予想されます。ワクチン接種は、現段階の変異株にも有効性があるという結果が出ています。科学的根拠のない情報には注意しましょう。

ただし、接種が済んだからといって感染しないということではありません。引き続き「マスクと手洗い、3密を避ける」という感染予防対策は忘れずに続けていきましょう。



**多賀医師会 会長**  
**横倉 稔明 氏**

日本医科大学付属病院の放射線科を退職後、やすらぎの丘温泉病院院長などを歴任。現在は医療法人愛正会理事長。  
平成20年4月には、現職の社団法人茨城県多賀医師会会長の要職に就任し、患者の安全と地域医療の確保に尽力されている。

**リスクよりもメリットの方がはるかに大きい。ワクチンを接種して、長期戦に挑む。**

**感** 染力が強い変異株が市内でも確認されています。当初のウィルス株と違い、子どもも簡単にうつってしまいます。

接種の対象となる12歳以上の人は、早めにコロナワクチンを接種した方が良いでしょう。

なぜなら、コロナウィルスに感染した後の後遺症が、はっきりしているからです。大きな問題となるのは、味覚や嗅覚などの感覚細胞へダメージがあることです。また、血管に対するダメージとして脳血管障害や血栓症などがあります。

一方で、ワクチンを接種したことによる副反応が心配だと思う人もいるでしょう。接種後の副反応については、個人差が大きいというのが事実です。熱が出る、頭痛、下痢をするなどがあり、多くの人が腕の痛みを訴えます。これらの副反応は、体が頑張つて抗体を作るために、エネルギーを割いているためだと考えられます。